



田中地区の地域ビジョン

地域で目指す姿・みんなで共有・みんなで行

第2版

令和8年4月

田中地区地域づくりの会



1 現状と課題

1 地域の支えあいについて (地域活動、子育て、福祉など)

良い点

- 区の組織がしっかりしており、自治会や公民館活動が積極的に行われている
- 近所付き合いを大切にし、支えあいの力がある
- 伝統的な行事、地域の風習を大切にしている
- 子どもたちの成長を地域が支える取り組みがある
- 若い人が少しずつ増えている
- 田中地区として一体感は強くないが、地域づくりの会ができたことにより横のつながりもできている

気になる点

- 伝統行事継承の人材不足により、地域文化の継承が困難になっている
- 近所付き合いが希薄になり、新旧の住民のつながりが弱い
- 高齢化が進み、地域活動が大変になっている
- 若者世代の地域活動への参加が少なくなっている
- 若者が出ていってしまう
- 少子化が進み、子どもの数が減っている
- 空き家が増えている

2 地区の目指す姿

住民、区、
各種団体がつながる
一体感のある田中地区



(消防訓練)

2 「田中駅、田中商店街」について

良い点

- 田中駅や商店街があり、人の往来が生まれやすい
- 市内で唯一の商店街があり、祭り等も実施されている

気になる点

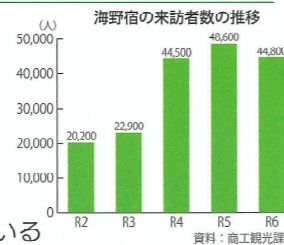
- 田中商店街の活気がなくなっている
- 駅周辺に駐車場が少ない

にぎわいのある
田中商店街
(田中駅周辺等)
の再興

3 まちを代表する観光地「海野宿」について

良い点

- 海野宿という強力な地域資源がある
- 歴史ある古いまち並みが残っている
- 多くの観光客、見学者が訪れている
- 区民全体が関わる祭りが開催されている
- 子どもたちの地域学習の場になっている



多くの観光客が訪れる
海野宿の再興

気になる点

- 海野宿の観光客が伸びず、活気が失われている
- 観光客に対して、店や常設ガイド等が少なく、海野宿の資源をうまく使えていない

4 まちの中心地 (商業、交通、公共施設など) について

良い点

- 市の中心で各種施設が充実し、住みやすい
- 市役所、中央公民館、図書館、児童館、文化会館、銀行、病院が近くにある
- 保育園、子育て支援センター、公園があり、子育て環境が充実している
- 小中高に加え専門学校もある
- 交通の便がよい (国道、田中駅)
- 買い物の環境が整っている
- コンパクトで災害が少ない

気になる点

- 働く場所が少ない
- デマンド交通が上手に活用されていない
- 道路が狭い
- 特筆すべき地域の特産品が少ない
- 商店街を訪れる人が少ない

市の中心地として
活気のあるまちづくり
の推進

3 実現させたいこと

1 地域活動によるつながりの強化

- 空き家活用も検討しながら、高齢者と子どもたちが一緒に集える場所をつくる
- 子どもから高齢者まで参加できる地域活動を企画し実施する
- 「ふるさと散策」で再発見した史跡等をマップ等にして地区全体で共有する
- 若い世代や女性の声が届く地域をつくる



(ふるさと散策)

2 地域が取り組む子育て支援

- 通学路の安全を確保する
- 小学校と地域の連携を強化させる

3 高齢者になっても住み続けられる環境づくり

- 高齢者の憩いの場やたまり場をつくる
- 中年層から取り組める健康づくりを行う
- お互いが助け合って生活できるまちをつくる



(子どもサロン)

4 若者が集まる、活気のある町

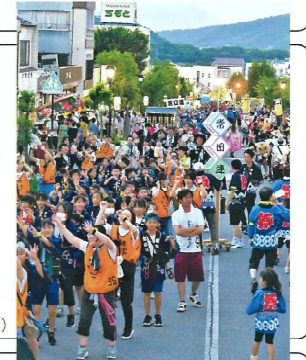
- 若い世代が集まってくる住みやすいまちづくりをめざす
- 地域のコミュニケーションを活発にする

5 子どもが将来「ここに住みたい」と思える地域づくり

- 誇りにをもって暮らせるまち、地域への愛着心が育まれるまちをつくる

1 にぎわいのある田中商店街の再興

- 商工会と田中商店街が中心となり地域も協力して、イベントの開催によるにぎわいを創出する
- 子どもたちが顔を出せる、明るく元気な商店街を地域住民みんなで実現させる
- 空き店舗等を活用し、休憩場所の設置や田中駅付近に宿泊施設の設置を推進する
- 商店街や駅周辺の案内マップを作成する



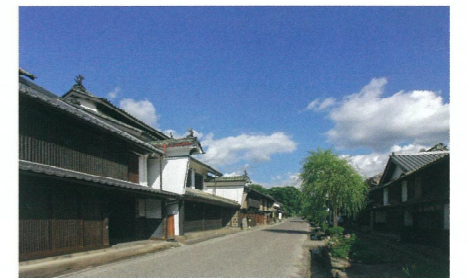
(市民まつり)

1 海野宿におけるおもてなし力の向上と魅力の発信

- 観光客向けに、海野宿を中心とした田中地区の歴史探訪を推進する
- 観光ガイドマップを作成し市内観光地相互の連携を図る

2 海野宿の魅力の積極的な発信

- 田中商店街と海野宿の連携を図る
- 海野宿を全国にアピールする



(海野宿)

1 活気のあるまちづくり

- 恵まれた地域資源 (商店街、海野宿、田中駅等) を活用して、人が集まる市街中心部の形成を推進する
- 田中地区の特産品づくりを推進する

2 デマンド交通の有効活用

- デマンド交通のPRと活用を推進する

3 Iターン、Uターンの推進

- 田中地区に企業等の誘致を推進する
- 帰ってきたい、移住したいと思える暮らしやすい地区の実現を目指す (道路整備、商店街の活性化、区の運営システムの見直し等を推進する)



(デマンド交通)

田中地区を知ろう、歩いてみよう！

～多くの人たちに訪れてもらいたい各区の地域資源マップ～

田中地区は、市役所や学校、駅、商店街等がある市の中心地区です。地区内の8つの区（加沢、常田、田中、県、本海野、西海野、白鳥台、城ノ前）には、伝統や歴史があり、今でもたくさんの史跡等が残っています。また、区民の絆があることから、住民が集う場所もたくさんあります。

そのため、このマップはこれらの一部を紹介し、各区を散策してもらおう・関心を持ってもらうきっかけになればと思います。新しい発見と感動、そして地域への愛着が生まれることを期待しています。



西海野区

①中曽根親王塚古墳

この古墳は、方墳に属し大塚（王塚）或いは丸山と言われています。（墳丘の基底部一辺が52m前後、墳頂部各辺が約12m、高さ約11m。方墳で県最大、国内9番目の大きさ）。竪穴式石室があると考えられ5世紀後半に製造されたと考えられています。（長野県史跡）



西海野区

②願行寺（浄土宗）跡地（推定）

古来千曲川太鼓淵の水底に一光三尊の阿弥陀如来を住民が見つけたこと、その如来のために海野氏（真田氏の祖先）により現西海野岩下の一寺を建立したのが「願行寺」のはじまりと言われており、1541年（室町時代）に焼失されたと伝えられています。その後、真田昌幸により焼失を免れた本尊とともに上田市横町（海野町の東側）に再建され現在に至っています。



本海野区

③媒地像尊（なかだちしそせん）

通称「縁結び地蔵」。加賀藩の前田侯の参勤交代の道中にお参りしたところ、良縁に恵まれないでいたお姫様が、無事結婚できたという縁結びの霊験が伝わります。出会いの仲をとりもつ「なかだち」のお地蔵さんとして慕われています。



本海野区

④白鳥神社

海野氏・真田氏の氏神として祀られた神社です。境内のケヤキの大木は、樹齢700年を超えると言われてます。（社叢は東御市天然記念物、本殿は東御市有形文化財）



白鳥台区

⑤白鳥台地竣工記念彫刻塔

白鳥台地の入り口に、昭和40年の団地竣工を記念した女神像が建てられています。肩に白鳥が止まっていますが、孝行娘と白鳥の伝説、白鳥神社等由来は様々です。新たなまちの出発に期待を膨らませた当時の住民のみなさんの気持ちが伝わってきます。



県区

⑥諏訪神社

元は諏訪社と言われていましたが、明治11年（1878年）に諏訪神社と改称されました。明治12年に本社、祝詞殿、拝殿を建て替えて今日に至ります。現在は、山車の収納所として、また、境内に土俵をつくり、毎年「子供相撲」の場所として区民に親しまれています。



県区

⑦針ノ木沢湧水

あがた御膳水公園内の「針ノ木沢湧水」は、明治11年（1878年）に明治天皇が御巡幸の際、御接待の飲料水とされ、その時の記念碑が建てられています。以降、「御膳水」と言われるようになりました。昭和45年（1970年）頃には日量450tと記録されていますが、現在は減っています。（東御市天然記念物）



常田区

⑧でいだらぼっちの足跡

でいだらぼちは、立てば頭が雲の中に隠れる程の伝説上の大男です。太古の昔、烏帽子に腰かけ、八重原台の方を見渡していると、千曲川の流が「単調」と感じ、土をすくって川の南側に置きました。土をすくったところが松原湖、置いたところが下八重原の外山、踏ん張った足跡がこの石に残ったものとされています。縄文時代を代表する凹石で、当時の共同作業場であったものとも考えられています。



加沢区

⑨大神宮の大桜

原公園の中に樹齢百数十年と言われている「桜の木」が2本あります。開花の時期には、運動会や花見で賑わいます。加沢区の自慢です。



加沢区

⑩加沢の念仏講

毎年、大寒の頃、念仏講で「加沢寒念仏」が行われます。区民が寄り合い念仏を唱え、「無病息災」「家内安全」を祈願します。当日は、百万遍念仏を唱えることができるように進んでいきます。（東御市無形民俗文化財）



城ノ前区

⑪城ノ前公園

昭和53年に発足した城ノ前区にある「城ノ前公園」は、昭和57年に開設されました。樹木も年々成長し、落ち着いた雰囲気のある公園となりました。近くの田中保育園の園児の皆さんも時々散歩の途中で立ち寄ってくれます。



常田区

⑫常田の剣持道祖神

市内数多くの道祖神の中でも、この道祖神は県内でも特に有名です。左の男神の握る剣を、右の女神のはかまの折り目に当てています。男女の深い愛情を、大胆に表しています。米粉などで「おしろい」を塗る風習もありました。（東御市有形文化財）

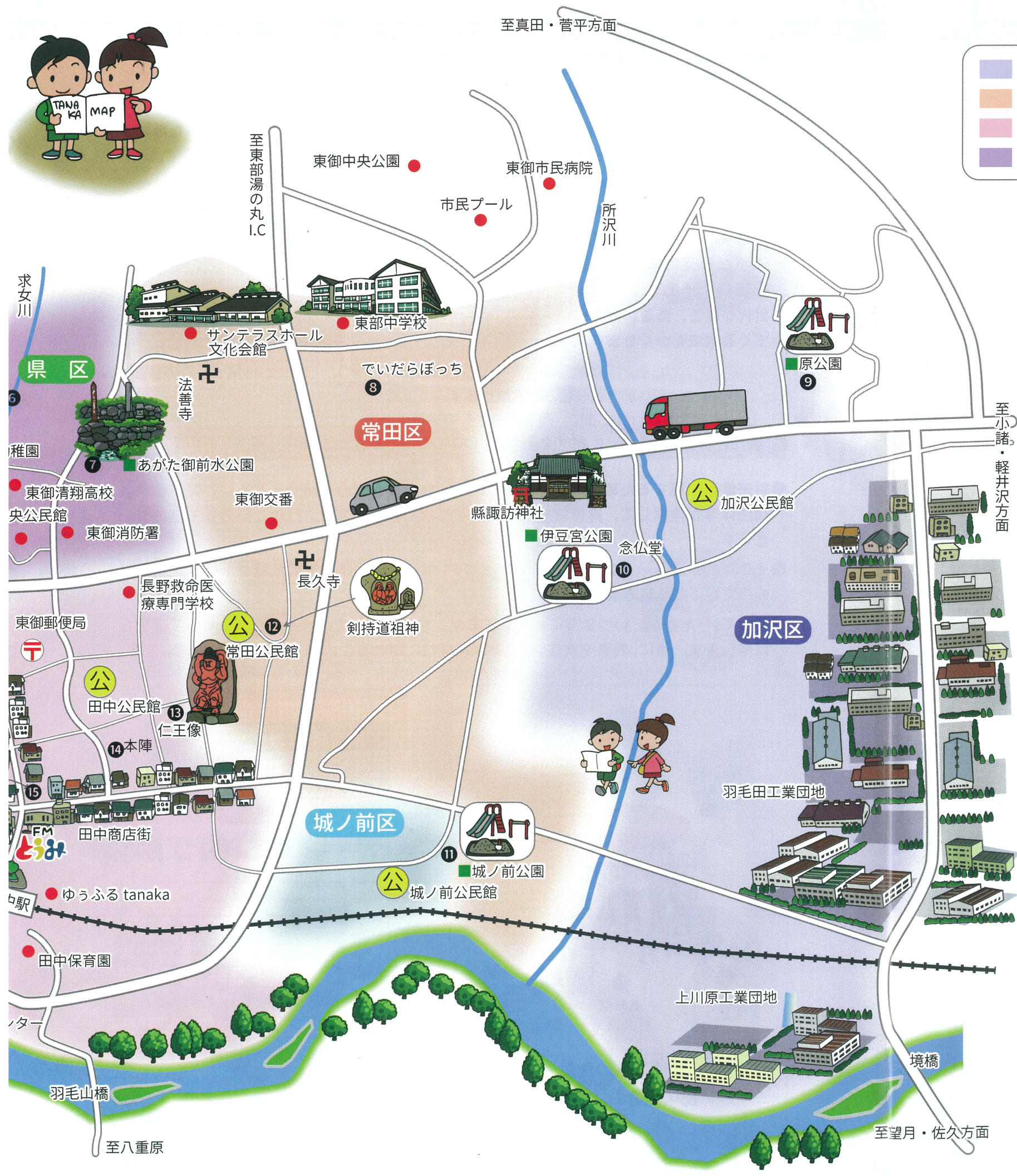


至丸子・松本方面

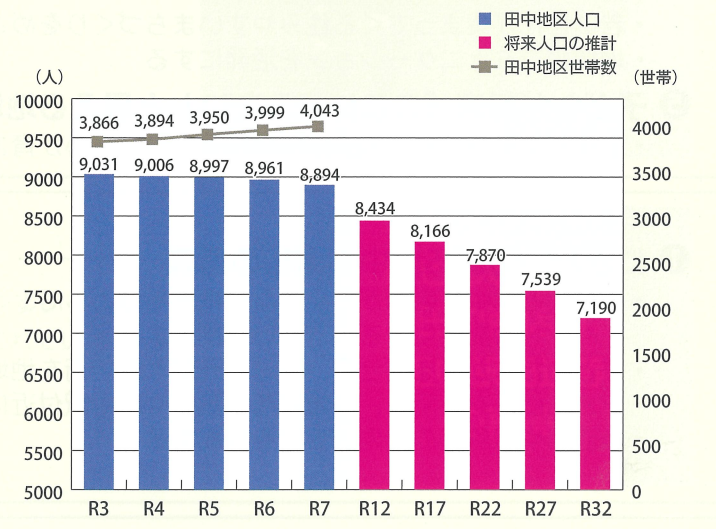


田中地区の8区凡例

- 加沢区
- 常田区
- 田中区
- 県区
- 本海野区
- 西海野区
- 白鳥台区
- 城ノ前区



人口・世帯数の推移と将来人口の推計



資料：東御市住民基本台帳（各年3月31日現在）、将来人口・世帯予測ツール（国土交通省国土技術政策総合研究所）で算出（将来人口の推計）



⑬田中の石造仁王尊
薬師堂の前に二体の石造の「仁王像」があります。雷電の母が雷電誕生の前年と雷電が大閤に昇進した後に建立したと言われています。右側の像の高さは210cm、左側の像の高さは187cmの大きなものです。（東御市有形文化財）

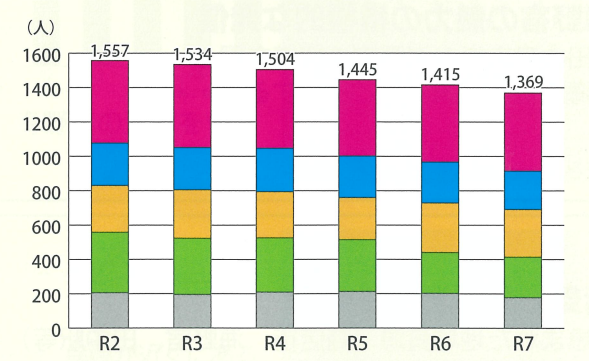


⑭本陣
中央通りから入る田中公民館のある通り沿いに、かつての田中宿の「本陣」の建物の門のみが「明治天皇ご休憩の碑」とともに残っています。門の鬼瓦が特徴的です。当時の本陣は、現在の商工会の建物のある敷地にありました。



⑮田中の勝軍地蔵
波の中を武装した地蔵が馬に乗って泳いでいる姿が丸彫りされています。悪行や煩惱を破り勝つという仏様で、防火の神としても信仰されています。田中宿が火災にあったことから、火除けの神として祭祀したものと思われます。（東御市有形文化財）

小学校児童数の推移



年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
田中小	480	483	457	443	448	454
滋野小	247	246	253	242	238	224
祢津小	271	281	268	245	288	277
和 小	353	329	316	303	239	236
北御牧小	206	195	210	212	202	178

資料：東御市の統計（学校基本調査）

4 地域づくりの方針

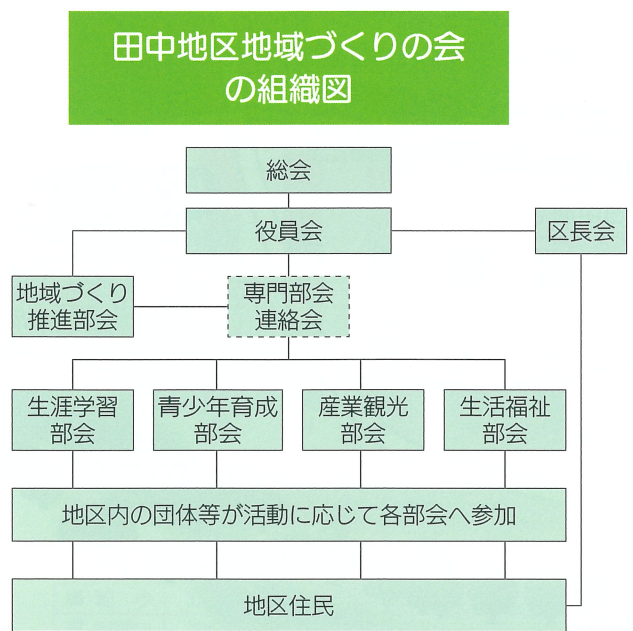
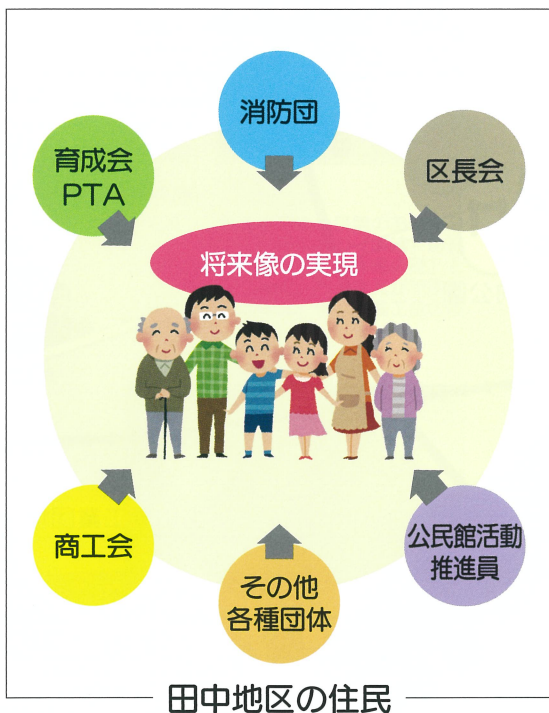
- 田中地区のつながりを大切にして、住民、区、各種団体がそれぞれに自らできることを実践し、不足するものについては周囲と助け合える関係性をつくります。
- 田中駅周辺、海野宿、東御市の中心部として充実している社会インフラといった地域資源を有効活用し、産業を元気にするとともに、地域交流や地域教育にも活かしていきます。
- 親・子・孫世代、近隣住民はふれあう中で、田中地区の魅力や引き継がれてきた価値観をコミュニティの中で共有します。
- 最終的には、田中地区の確かな基盤のある暮らしを維持・発展させ、若い世代が戻る、あるいは入ってくる地域をつくります。

5 将来像を実現するための推進方法

- 将来像を実現するため、田中地区の住民一人ひとりが関心を持つとともに、地域づくりの会と住民、行政が連携して、具体的な取り組みを実現します。
- そして、「だれが、いつまでに、何をするか」を明確にして、住民が一丸となって実現を目指します。特に、若者や女性、移住者が積極的に関わることができる活動を展開します。

田中地区地域づくりの会の構成団体

区長会、分館長会、田中小、田中小PTA、田中小おやじの会、東部中、東御清翔高校、青少年育成協議会、田中スポーツ少年団、東御市商工会田中支会、加沢支会、海野支会、田中商店街協同組合、田中商店街女性の会、中心市街地活性化協議委員会、海野宿保存会、羽毛田工業団地協議会、JA信州うえだ、ゆうふるtanaka、しなの鉄道、田中地区健康づくり推進員会、田中地区民生児童委員協議会、田中地区シニアクラブ、田中地区福祉運営委員会、上田交通安全協会東御部会田中支会、東御市消防団第1分団、長野救命医療専門学校



※この組織図は、現段階のイメージ図として示したもので、変更となる場合があります。